

<PGI 学術講演抄録> ※無断転載を禁じます

『歯周病とインプラント周囲病変の新分類に基づいた インプラント周囲炎の対応』

伊藤公一

日本では多くの歯科医師が日常臨床でインプラント治療を行っている。2011年12月、国民生活センターは「歯科インプラント治療に係る問題－身体的トラブルを中心に－」を公表し、その後、関係歯科医学会・行政機関において、適切なインプラント治療の推進のため、治療指針が策定される等の対策を要望してきた。しかし、その間に2012年1月にNHK クローズアップ現代や2016年12月週刊現代などでインプラント治療後のトラブルが急増していると報道されて現在に至っている。

遅ればせながら日本口腔インプラント学会は、国民生活センターの「あなたの歯科インプラントは大丈夫ですか－ならない歯科インプラントにかかわる相談－」に関する2019年3月の報道発表を受けて、適切なインプラント治療を推進するための声明文を発表した。

- 1) すべての学会員が今後も学会の医療安全および医療倫理規程を遵守し、適切なインプラント治療を推進します。
- 2) これまで以上に国民向けにインプラント治療に関わる正確な情報提供に努めます。
- 3) 本学会認定専門医をホームページで公開するとともに、日本歯科専門医機構の活動に積極的に参画します。
- 4) インプラント治療に関する相談窓口を国民に周知し、関連機関と連携してインプラント治療に関わる情報収集をします。
- 5) 日本歯科医師会ならびに日本歯科医学会連合と連携して、「口腔インプラント治療指針」を歯科界へ一層周知します。

本学会はインプラント治療に責任を有する学会として、今後も会員一同が、患者の皆様の声に耳を傾け、国民に信頼されるインプラント治療の確立に向けて、誠心誠意研鑽をして参ります。

インプラント治療のトラブルや失敗の原因の一つに歯科医師のインプラント治療に対する知識や技量不足が挙げられている。安全・安心な歯科インプラント治療を広く国民に提供するには、歯科医師のみならず歯科衛生士を含む歯科医療従事者が医療安全に対する教育と対策について真摯に学ぶ必要がある。さらにインプラント治療のトラブルや事故を防止するために、医療安全や感染防止対策のみならず、インプラント学・治療に関する知識と技術の研鑽、患者との信頼関係の構築やコミュニケーション能力の向上など、包括的な医療安全に対する医療を習得しなければならない。

2017年11月、アメリカシカゴで The World Workshop on the Classification of Periodontal and Peri-implant Disease and Condition（歯周病とインプラント周囲病変の分類に関する世界ワークショップ）が開催された。American Academy of Periodontology（アメリカ歯周病学会）と European Federation of Periodontology（ヨーロッパ歯周病学会）が中心となり、歯周病学・インプラント学に携わる世界各国の第一人者が一堂に会してエビデンスに基づく世界基準の歯周病とインプラント周囲病変の新分類について検討した。

その後、2018年6月、オランダアムステルダムで開催された EuroPerio9 で新分類が発表され、冊子 Classification of Periodontal and Peri-implant Disease and Conditions も出版された。

2019年の6月29日（土）、7月27日（土）のPGI定例研修会では、多くの日本国民が歯周病に罹患していることを踏まえ、歯周病に罹患している患者にインプラント治療を行う際の基本的な考え方や治療法をベースに歯周病とインプラント周囲病変の新分類に基づいたインプラント周囲炎の対応と題して講演を行わせて頂きますので多数の皆様の参加をお待ちしております。